

サンゴ礁保全に関する 環境省の施策

第1回サンゴ礁保全行動計画策定会議
平成20年6月5日

サンゴ礁保全の取り組み

1. サンゴ・サンゴ礁に係る保護区
2. 自然再生の取組
 - 石西礁湖の再生の取組
 - 竜串の再生の取組
3. オニヒトデ等の駆除
4. モニタリングサイト1000
5. 国際的な取組

サンゴ・サンゴ礁の分布調査

- ・ 自然環境保全基礎調査で1990～1992年のサンゴ・サンゴ礁の分布を調査。サンゴ礁分布図を作成。

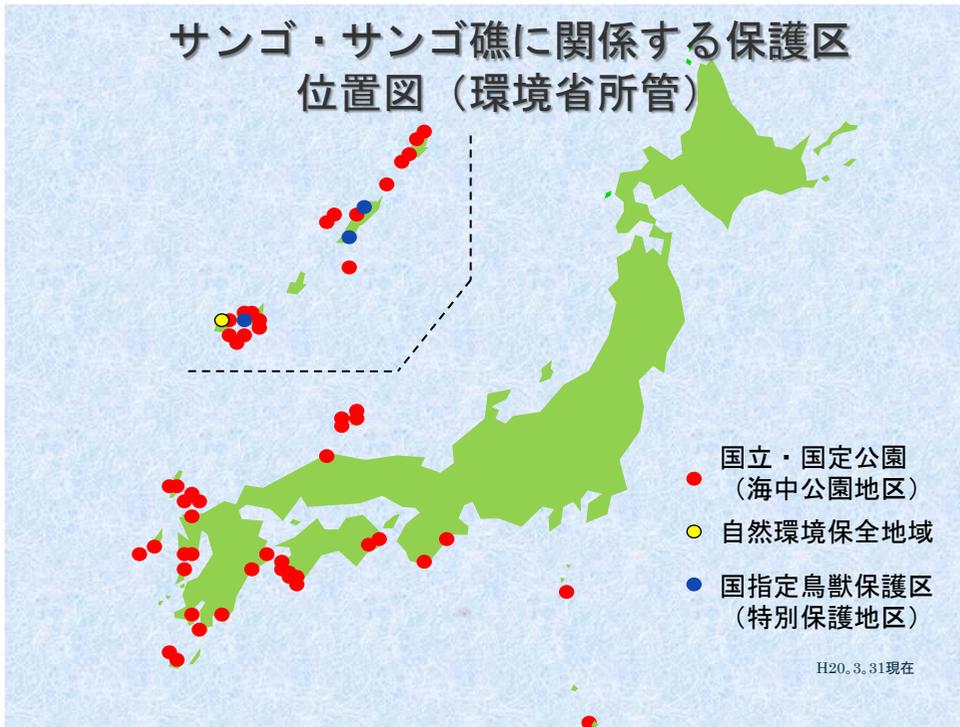
	地域名	サンゴ群集	サンゴ礁
サンゴ礁	鹿児島	5951.2	18412.7
	沖縄	21188.6	77610.6
非サンゴ礁域		1409.3	—
計		28549.1	96023.3

引用) 1994年 第4回自然環境保全基礎調査 海域生物環境調査報告書
第3巻 サンゴ礁

サンゴ・サンゴ礁に関する保護区 (環境省所管)

	保護区名	箇所数	面積(ha)
サンゴ礁域 (サンゴ以外を 対象にした保護 区も含む)	国立・国定公園 (海中公園地区)	16地区	2045.5
	自然環境保全地域	1地域	12
	国指定鳥獣保護区 (特別保護地区)	3箇所	1216
非サンゴ礁域	国立・国定公園 (海中公園地区)	36地区	848
計		56	4121.5

ラムサール条約登録湿地： 漫湖（サンゴ礁域の河口干潟）、
慶良間諸島海域（サンゴ礁）、
名蔵アンパル（サンゴ礁域のマングローブ林等）
串本沿岸海域（非サンゴ礁域のサンゴ群集）



石西礁湖における再生の取組

<サンゴ群集再生への取組>



サンゴ衰退の
主な要因



オニヒトデの大量発生による食害

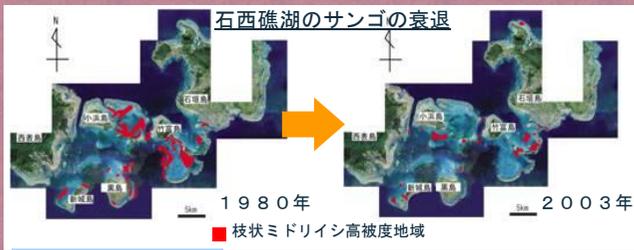


海水温の上昇に起因する白化現象



赤土流出等、陸域からの環境負荷

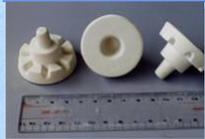
石西礁湖における再生の取組



自然再生の手法

■ サンゴ群集の修復（サンゴの幼生の着床誘導及び移植）

サンゴ群集の修復（幼生定着基盤の設置）



着床具



サンゴ産卵前に着床具を海底に設置



着床具設置作業



着床具に付着して成長したサンゴ

■ 陸域からの環境負荷の低減

竜串における再生の取組

<サンゴ群集の再生>

流域全体の視点からかつての造礁サンゴ類を中心とした海中景観と生態系を取り戻すための取組を実施。



竜串は足摺宇和海国立公園内の海中公園地区

竜串における再生の取組

<現状課題>

西南豪雨の発生(H13.9)により湾内に多量の土砂が流入



○森の様子
-土壌流出・崩壊の危険-



竜串における再生の取組

＜海底堆積泥土除去実証試験 (H18)＞

- 湾内の底質及び水質環境を改善
- 濁りの原因を除去し、改善効果を評価



作業船 (小型クレーン付潜水士船)

○浮泥堆積調査 (泥土除去効果のモニタリング)

設置直後

浮泥堆積状況

泥土除去状況

オニヒトデ等の駆除

- 駆除地域：吉野熊野国立公園
足摺宇和海国立公園
西表石垣国立公園



モニタリングサイト1000サンゴ礁分野の調査手法

調査サイト等数：24サイト、約450調査地点

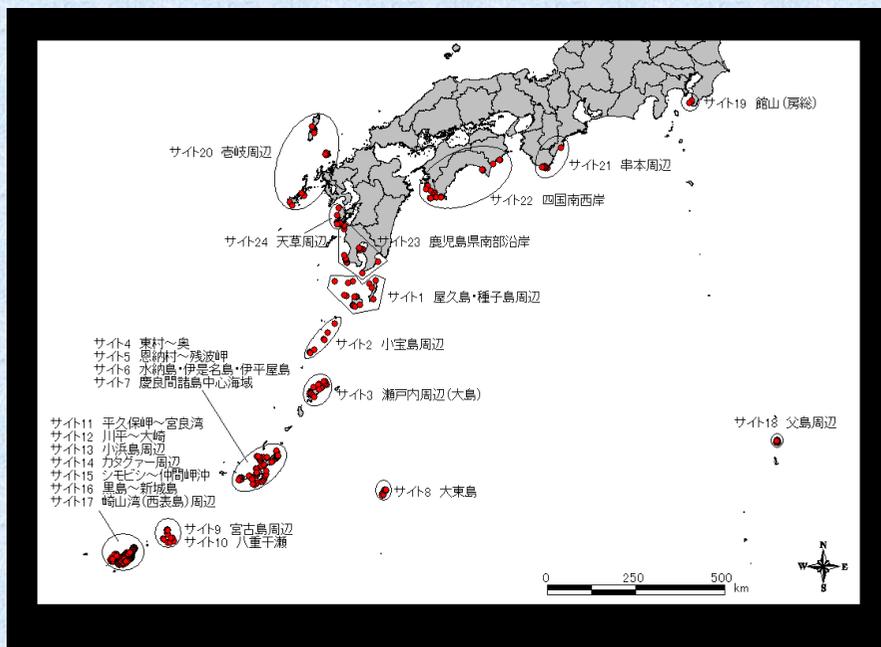
手法：スポットチェック法

調査項目：

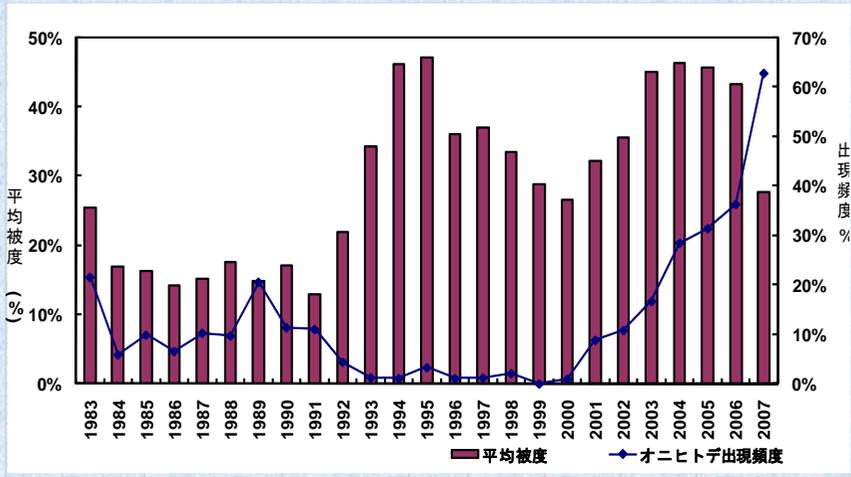
生物要素 サンゴ(被度、生育型、新規加入率、白化率)
オニヒトデ(個体数、優占サイズ、食害率)
その他(サンゴ食巻貝、定着性魚類個体数)

物理環境 位置、水深、地形、底質、堆積物、水温

モニタリングサイト1000の位置図



石西礁湖におけるサンゴの被度と オニヒトデの出現状況変化



国際的なサンゴ礁保全の取り組み

- ・ 国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI)
- ・ 東アジア・ミクロネシアMPAデータベース
- ・ 国際サンゴ礁保護区ネットワーク会議/第4回 ICRI東アジア地域会合

開催予定日：平成19年11月17～19日

目的：東アジアを中心としたサンゴ礁保護区ネットワーク戦略の策定に向けた議論を開始

- ・ 国際サンゴ礁年